

# 美肌読本

すっぴんが一番キレイ！ノーファンデで素肌が輝く♪

## あなたは、こんな肌の悩みありませんか？



毛穴の開き、小鼻の角栓、吹き出物やその跡、敏感肌で赤ら顔、目の下のくま、ほうれい線やゴルゴ線、たるみ、くすみや黒ずみ、シミやそばかす、乾燥肌、化粧かぶれ、Tゾーンのベタつき...

実は、私自身も、多くの女性と同じように、若い頃から、いろいろな肌トラブルに悩まされてきました。吹き出物、シミ、赤ら顔、毛穴の開きはもちろん、カサカサしているのにTゾーンだけべったり脂っぽい、敏感肌、オイリードライ肌など...

母親からも「その肌何とかならないの？」と言われるほど、肌が荒れていた時期もあり、特に20代の頃は、美肌に憧れ、ありとあらゆるコスメを使ってきましたが、失敗の連続... (涙)

使えば使うほど、ダメージを受けて、どんどん素肌に自信が持てなくなっていきました。

それでも、どこかに私の肌をよくしてくれる化粧品がないかと、給料の多くを費やして海外ブランドの高級コスメから100円コスメの「ちふれ」まで、いろいろ試し続けましたが...結局、これ！といえるものには出会えませんでした。

そんな時に、だめ押しとも言える体験をしました。

ある大手のエステの営業マンに声をかけられ、「短時間で確実に肌がキレイになれる美容法がある！」という話をうっかり信じて、エステと化粧品のセットを契約してしまったのです。

契約後に届いたのは、ダンボール一杯に詰まった「ケミカル成分いっぱいの化粧品」と「10回のエステ券」でした。1時間半かけてエステに通いはじ

はじめまして！

ビューティセラピストのTOMIKO姫こと、竹下登美子です。女性を内からも外からも美しくするためのホリスティックビューティサロン「HBIサロン」を運営して早17年。これまでに、のべ10,000人以上の方の肌診断や美肌づくりのサポートをおこなってきました。



Holistic Beauty  
Institute



有限会社HBI  
〒154-0022 東京都世田谷区梅丘1-15-12ツツキビル2階  
TEL:03-3425-3758  
FAX:03-3425-3790

めましたが、受ければ受けるほど、肌の状態は悪くなるばかり・・・

化粧品もピリピリと肌に刺激を感じて、結局、ほとんどは捨ててしまうことになり、後に残ったのは、より悪化した肌トラブルと、30万円のローンだけでした。

たくさんの時間とお金を費やして美肌になるために行ってきたスキンケアのほとんどは、結果的に逆効果になっていたのです（涙）



その後、30代前半で自然療法に出会い、その神秘的な力に惹かれ、アロマやハーブやミツロウなどを使って、化粧品を手作りする講座なども開くようになりました。はじめのうちは、肌に優しく、香りも癒しになり、シミが消えたり、白髪が解消したりと、生徒さんたちからも、喜びの報告をたくさんいただいて、楽しんでいました。

ところが、続けていくうちに、夏の暑い時期には成分が腐敗したり、素材同士の相性が悪くて分離したりと、残念なことが続出したのです。

自然なものが肌に良いことはわかったものの、やはりどうしても手作りにには限界があり、テクスチャーなどの使用の面でも、保存面でも、使用後の効果の面でも、満足できるものではありませんでした。

スキンケアは、ただ肌に優しいだけではなく、簡単で安全で、安定性もよくて、満足のいく効果が出なければ、長く続けられるものではありません。何か良い解決策はないものかと悩んでいた時、美容家の柴田先生との運命的な出会いがあり、それが人生の転機となりました。



柴田昌之先生（ベルクール研究所所長）

柴田先生は、北海道に工場を構え、世界最高品質を誇るグレードのアロマやハーブなどの素材を集め、こだわりの水を使い、肌改善のための化粧品を製造する化粧品メーカーの社長でもありました。北海道の工場を初めて訪問した時、先生は私の目の前で、ラベンダーがほのかに香る「100%植物由来のクレンジングオイル」を作ってくださいました。それは、肌に触れた瞬間、スーッと浸透し、一瞬で幸せなオーラに包み込まれ、お肌が喜ぶのがわかりました。

20年来の肌の悩みは、プロの美容家である柴田先生が厳選した成分を、絶妙なバランスと丁寧な職人技で1つずつ大切に作られた化粧品の使用によって、1ヶ月も経たないうちに、みるみる改善していきました。

その化粧品は「ケミカルな素材」を使ったものでは決して味わえない、そして、素人が手作りで作っていたものとは次元の違う素晴らしいもので、私は感動のあまり、すぐに先生の下で学ぶことを決めました。

そして、その3ヶ月後には勤めていた会社を辞めて、「自分のように肌トラブルに悩んでいる多くの女性のサポートしたい」というミッションを胸に抱き、ビューティーサロンHBIをオープンさせることになりました。



ベルクール研究所外観（札幌）

柴田先生から成分のことを学ぶようになり、次第にわかってきたのは、長年悩んできた私の肌トラブルは、コスメの中に入っている「ケミカルな成分」などの影響が大きいということでした。

あまり意識していないかもしれませんが、市販されている化粧品は、さまざまな化学物質を混ぜ合わせたものです。中でも、ファンデーションは、その最たるもので、化学物質の固まりのようなものでした。しかも、驚いたことに、化粧品メーカー自身が、ファンデーションを使う期間が長ければ長いほどお肌は老化し、シミやしわ、吹き出物などのトラブルが増加するというデータを持っているというのです。

それだけではありません。真剣に「肌をキレイにする化粧品」を開発してしまうと、色々なアイテムの化粧品が売れなくなるから、「適度に肌にダメージを与えていくモノ」を作っていくのが、儲かる仕組みだという現実も見えてきたのです。

そんな風に多種類のケミカルな成分で作られたファンデーションは、落とすために、強いクレンジング剤を使う必要があるため、その刺激によってさらに肌は傷み、刺激に弱くなっていきます。どんどんケミカルダメージが積み重なっていくこの悪循環こそが、何をしても良くならない肌トラブルの最大の原因だと、私は考えるようになりました。つまり、次のように悪循環していくのです。

1

### 肌トラブル

ケミカルな化粧品成分が肌にダメージを与え、肌にトラブルが起こる

2

### 隠す

素肌に自信が持てなくなるから、ファンデでアラを隠す

3

### ダメージの慢性化

化粧品のケミカル成分のダメージが重なり、トラブル肌が慢性化

4

### 負のループへ

ますます素肌が悪くなり、ファンデを厚塗りする

正しい知識がないがゆえ、肌にダメージを与えてしまうものを、うっかり広告や宣伝で「よさそう!」だと勘違いして試しているから、肌の悩みが尽きなくなるのです。逆に、正しい知識を知りさえすれば、私のように誰もが40歳からでもファンデーションいらずの素肌美人になれるのです。

私は、40代になってからようやく「美肌ですね!」と言われるようになり、50代になった今のほうが、もっと頻繁に褒められるようになりました。これは、「年の割には」という枕詞がついた褒め言葉ではないようです。



↑ 57歳の今

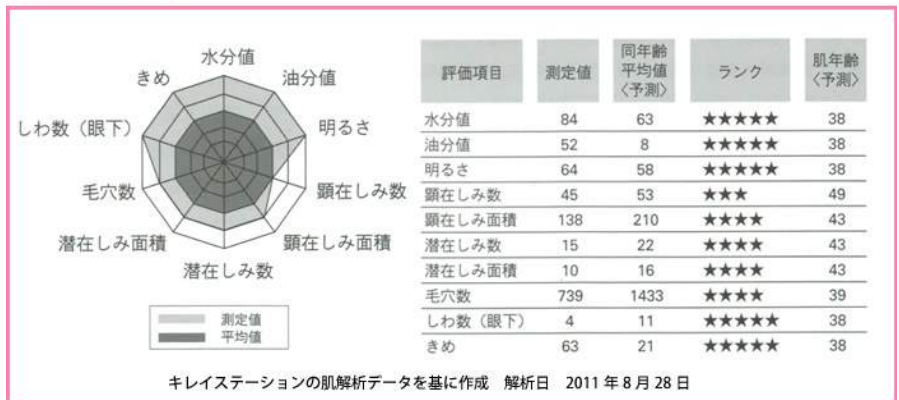
↑ 肌トラブルに悩んでいた37歳の頃

事実、肌年齢を測定する装置で計測すると、53歳の頃の私の肌は、30代の肌と判定されていました。（ただし、この装置は、マイナス15歳までしか判定できないものなので...実際には、もっと若々しい状態にあるのではと、密かに思っています）。今57歳ですが、「会うたびに美肌になっている!」と周りの方々からも驚かれています。

HBIサロンに来てくださるお客さまは、私の肌を実際に間近で見ているので、私のお伝えするスキンケアを信じて、どんどん素肌美人になっていきます。

そして、そんな風に、たくさんの方々の美肌を取り戻すお手伝いをしてくれて、「誰でも、何歳からでも、キレイになれる!」ということを確認しています。だからこそ、今後は、もっとたくさんの方々にその秘訣を知っていただき、自分の素肌に自信を持って生きて欲しいのです。

## 肌解析データ



中には、「もう年だし、今さらキレイになっても...」と言われる方もいらっしゃるのですが、たとえ何歳になっても、鏡に映る自分の素肌が美しく変われば心も明るくなり、そのウキウキした気持ちは、家族や友人にもよい影響を与え、ハッピーなエネルギーが循環していくことでしょう。

その第一歩であるTOMIKO姫がお伝えするスキンケアは、「40歳を過ぎてもノーファンデでプルプルの素肌美人でいる」ために、誰でもすぐに簡単に始められる方法です。

この冊子をお読みいただき、あなたもファンデーションいらずの素肌美人になって、イキイキと輝いていただければ何よりもうれしく思います。

## TOMIKO姫の美肌レッスン

## ①トラブル肌の原因は...?

## “ケミカルダメージって何？”

## あなたは、こんな体験をしたことがありますか？

「お化粧したまま寝たら、翌朝、肌がボロボロになってしまった。」

「敏感肌だから、化粧品が使えなくて…」

「ローションつけたら、肌が荒れてガザガザに。」

「クレンジング剤で肌荒れしてしまった。」

「ファンデを塗っていると、夕方には肌がくすんでしまう…」

「UV剤が強すぎて、肌がかえって赤くなってしまった」

サロンの現場でもよく耳にすることですが、これこそがケミカルダメージなのです。

これらは、コスメの中に入っている合成界面活性剤、合成色素、合成香料、安定剤、分散剤などのケミカルな成分が、肌に負担をかけ、さまざまなダメージを与えているから起きること。

特に、ファンデーションと日焼け止めは、様々な化学物質を組み合わせで作られているにも関わらず、長時間、肌の上にとどまっているものですから、被害は深刻です。

けれども、だからと言って、化粧品に配合されているケミカルな成分のすべてが悪いというわけではありません。

それこそ、私が20代だった頃に比べて日進月歩の進化を遂げ、かなり洗練されてきているのも事実です。

ですが、かつての私のように、美肌を求めて色々試してみても、なかなか肌が改善されなかったように、まだまだ、ケミカルな成分による肌トラブルは後をたちません。

また、すぐに炎症や肌荒れを起こしてしまうものは、気づけるので止めることができますが、ケミカルな成分はジワジワと時間をかけて、浸透してくるものも少なくないため自覚されにくく、気がついたらシミが増えていたとか、乾燥肌になっていたということが多いのです。

ですから、美肌になりたいあなたには、化粧品の真実や肌の生理的なことも含めて理解していただけたら、美肌を手に入れるのに近道だと思います。



## “なぜ、ファンデをやめると肌がキレイになるの？”

ファンデーションには、ケミカル成分がたくさん配合されています。どのようなものが含まれているかというと…

## 界面活性剤・乳化剤

水と油を混ぜあわせるために必要な素材の総称で、水と油の成分を含む化粧品を作るときには必ず必要になるものです。

肌に刺激が強いものから、弱いものまで、いろいろな種類のものがあります。もちろん肌に刺激の少ないものを使っていれば、問題は起こりにくいのですが、市販のコスメでは、より安い費用で入手できる石油系の界面活性剤を使っているものも多く出回っていますから、注意が必要です。

石油系の合成界面活性剤は、皮脂を溶かす作用や、タンパク質を変性させる作用があるので、乾燥や小じわの原因になったり、シミや皮膚障害を引き起こす恐れがあります。



実は、石油系の合成界面活性剤の代表は、食器洗い用洗剤です。

さすがに、洗剤レベルのものは化粧品には使われていませんが、長時間肌に乗せるものだからこそ、安全、

安心なものにこだわってほしいものですが、ケミカルな合成界面活性剤はコストが安いので、化粧品メーカーにとっては魅力的ですから、大概は、ケミカルな界面活性剤・乳化剤が使われてしまうのです。

## 防腐剤

化粧品は、常温で保存され、何度も開けたり閉めたりを繰り返して使うので、基本的には、防腐剤を配合する必要があります。

特に、クリームや乳液は、水分や栄養になる成分をふんだんに含むので、細菌が繁殖して腐敗

しやすいため、安定性を保つためには、必ず防腐剤が必要です。

一般の化粧品は、製造してから、3～5年は腐らないように製造されているものが多いので、当然、防腐剤の量もしっかり入っていると考えられます。

お肌に直接つけるものだけに、化粧品の製造メーカーは、何より「腐らないこと」を一番に考えてしまうのです。次に、コストを考えます。強い防腐剤を大量にいれると長く変質しないため、多少古くなっても販売ができるので便利です。

つまり、残念ながら、肌の健康よりも経済を優先してしまう業界の体質が、肌ダメージの原因になっているのです。

例えば、防腐剤でもヒノキチオールという成分があります。ヒバの木に含まれる天然の精油成分です。強力な防腐作用がありますが、お肌には害がありません。

ですが、現実には殆どのメーカーは、化粧品に使っていないのです。理由は、一般の化粧品に使われる防腐剤であるパラベンに対して10数倍のコストがかかるからなのです。

## 合成色素

着色剤の一種である「タール系色素」は、石油由来の合成着色料です。赤色213・223・228・226号、黄色5号 青色404号は、ファンデーションやUV剤などの化粧品、シャンプーだけでなく、食品にも入っています。

着色剤の用途は、

- 肌をきれいに見せる
- 肌に着色する

- ツヤを出す
- テカりを抑える
- 肌の質感を変える

というのですが、実は、この「タール系色素」は、皮膚障害、発ガン性、色素沈着が疑われています。

また、過去には化学合成の「タール系色素」や、その中に含まれていた不純物により肌トラブルが起これ社会問題となったこともありました。

現在では、厳しい検査に合格した安全性の高いものが使われていますが、それでも、「安全なもの」というわけではないですし、ケミカル成分であることも確かなのです。

とはいえ、タール系色素を含んでいないファンデーションは、なかなか見つかりません。ですから、そういった健康上の理由からもファンデを止めたほうが良いと思うのです。

## “ケミカルな紫外線吸収剤の肌への影響”

紫外線吸収剤には、旧表示指定成分に含まれるものがあります。「表示指定成分」とは、「ごくまれにアレルギー等の皮膚障害を起こすおそれのある成分」として、厚生大臣が指定し表示が義務づけられていた成分です。102種類（香料を含め103種類）ありましたが、2001年の薬事法改正で表示義務がなくなりました。

紫外線吸収剤のなかには、フェノール系化合物、フェノールに類似するベンゼン系化合物があり、これらはタール色素や酸化防止剤などと同様に

発ガン性などの毒性があります。そのため紫外線吸収剤は毒性の強さに応じて一品目への添加量が制限されています。

「ちゃんと規制されているなら安心」と思いがちですが、もし、あなたが、紫外線吸収剤を含む乳液や化粧下地、ファンデーションなどのUVケア商品を、3つも4つも使用したなら、どうでしょうか？制限を超え、皮膚細胞を傷つけてしまい、シミやシワになる可能性は大きくなるのです。



ですから、肌が敏感な人やかぶれやすい人は、紫外線吸収剤ではなく、紫外線散乱剤が含まれるものをおすすめです。「紫外線散乱剤配合」「吸収剤無配合」「ノンケミカル」という表示のものを選びましょう。

さて、ここまでお読みいただき「ケミカルな成分」のリスクを、少しはご理解いただけたでしょうか。

けれども、「ケミカルな成分」による肌ダメージは、これだけではありません。このような刺激の強い「ケミカル成分」が混ざったファンデーションや日焼け止めは、直接肌にダメージを与えるというだけでなく、実は、さらに悪い影響を引き起こします。

「ケミカルな成分」をつけて、紫外線を浴びると...

### 1. 皮膚毒性

ケミカルな素材である紫外線吸収剤には、皮膚毒性があるため、肌の炎症をもたらす可能性が

あります。それどころか、中には、皮膚ガンを引き起こすものまであります。現に、アメリカやオーストラリアでは、日本より早くからUV剤の普及が進んでいますが、皮膚ガンは減るどころか、増え続けています。

## 2. 肌の酸化

肌が老化する大きな原因のひとつと言われているのが「酸化」です。

テレビや雑誌などでもよく取り上げられている通り、紫外線やストレスなどさまざまな原因によって発生した「活性酸素」は、肌の細胞を錆びさせて、皮膚組織の弾力を奪い、シワやシミの原因を作ります。

たとえば、ファンデやUV剤などに使われている「タルク」という鉱物由来の成分がありますが、これは、細かくした粒子を皮膚に付けるものです。

つまり、肌との親和性がないために、肌には負担がかかります。そのような皮膚に合わないものを付けることによっても、肌は酸化していきます。

さらに、ファンデやUV剤に含まれている「ケミカルな成分」も、紫外線を浴びることによって、自ら酸化していくのです。

ですから、「ケミカルな成分」で紫外線は防止できたとしても、肌に酸化ダメージを与えてしまうことになり、その結果、シミやシワの原因にまでなってしまうのです。

## “ファンデは、落とすときにも大変！”

ファンデは、汗に強く、時間が経っても崩れにくいタイプのものでありますが、落とす際にも、強いクレンジング剤が必要になり、肌に負担をかけてしまいます。



強いクレンジング剤には、ケミカルな合成界面活性剤が含まれていることが多く、それ自体が、皮脂を取りすぎたり、タンパク変性を起こしたりします。

また、シートタイプのクレンジング剤は、大量の防カビ剤が配合されているため、肌荒れの原因になります。

さらに、ゴシゴシこすったりすると、摩擦によって肌を傷めますので、こすらずに、やさしく丁寧に落としていくのがポイントです。

このように、たくさんの危険性を持つ「ケミカルな素材」がたっぷり含まれた化粧品は、肌をキレイに見せてくれるどころか、かえって肌にダメージを与え、肌トラブルの原因になっている可能性があります。あなたにも、心当たりがありませんか？

では、ノンケミカルなものさえ使っていれば、それで問題はないのでしょうか？



## ②素肌美を手に入れる方法！

### “ノンケミカルでも、要注意！”



必ずしも、すべての防腐剤や界面活性剤が有害というわけではありませんが、天然素材に比べると、ケミカルな素材は、お肌にダメージを与える可能性は高いようです。

けれども、逆に、天然・自然素材（ノンケミカル）がすべて、肌に優しいわけでもないので、化粧品選びには、正しい知識が必要です。

たとえば、植物由来のハーブやエッセンシャルオイルであっても、肌に刺激を起こすこともあります。

つまり、お肌にダメージを与える素材であるかどうか検証されたものを、きちんと見極めて使うことが大切なのです。

たとえば、同じ界面活性剤でもレシチンという成分を使うこともできます。レシチンと言えば大豆などに含まれる成分で、健康のためにサプリメントとして摂取するほど安全なものです。

美肌になるポイントは、肌ダメージを与えない安全性の高い防腐剤や界面活性剤を選んでいくことです。

では、先ほど「化学物質の塊」とお伝えした、日焼け止めやファンデーションは、今後、どうすれば良いのでしょうか？

### “スキnfローラこそが鍵！”

その鍵となるのが、お肌の「スキnfローラ（皮膚常在菌）」です。

おなかの中に腸内細菌が生息して、私たちのために良い働きをしているように、皮膚にも常在菌がいます。そして、スキnfローラと呼ばれる**皮膚常在菌の健康状態**が、美肌になるかどうかを、大きく左右しているのです。

たとえば、肌を受けるカビや花粉といった外部からの刺激や、病原体のようなものは、皮膚常在菌が守ってくれますので、スキnfローラが整っているなら、トラブルの原因にはなりません。その上、この常在菌は、肌のバリアとなる皮脂膜を作る働きもしてくれています。

ですから、皮膚常在菌が働きやすいような皮膚環境を守ること、つまりスキnfローラを整えることは、即、トラブルの無い、強い肌をつくることにつながります。

けれども、逆に、ケミカルな成分を肌に塗ること...このスキnfローラの働きが抑えられてしまいます。

たとえば、防腐剤や合成界面活性剤などのケミカルな成分は、スキnfローラのバランスを崩し、常在菌を減らしてしまいます。

すると、皮脂膜がしっかり作れなくなるため、肌が乾燥していきます。

実は、肌は乾燥すると、肌ダメージを起こし、酸化するので、シミやシワ、肌荒れなどを作ります。

その上、本来、皮脂に備わっている、紫外線を防止したり、肌の酸化を抑制する働きまで、機能しなくなるため、肌の劣化や老化が、どんどん加速していきます。

想像してみてください。ファンデをしっかりとつけているダメージ肌の女性よりも、かえって皮脂が多い男性のほうが、皮膚にシミやシワが少ないことが多いと思いませんか？だとしたら、それは、この常在菌のおかげです。

つまり、常在菌と仲良くして、これらの菌を抑えない、殺さないことが美肌づくりにとって、大切なポイントなのです。

では...具体的にどうすればいいのでしょうか？

### ③あなた自身のスキフローラを守るために

#### “1. ケミカルなファンデーションを手放すこと”

素肌美を目指すなら、まずは、化学物質の塊であるファンデーションを止めてみることで。

これは過去20数年間、私自らが実験台となり、試行錯誤を重ねてきた、結論です。

女性は二十歳過ぎて対外的な場所に行く時には、化粧をして、フェンデをつけるのは身だしなみという考え方があります。

私も二十歳の頃からファンデを塗り始めましたが、それ以降、シミ、赤ら顔、毛穴の開き、敏感肌、オイリードライ（乾燥しているのに脂分も気になる肌）など、肌トラブルに悩まされ続けてきました。

お肌のトラブルでお悩みの多くの女性達は、ファンデ→ケミカルダメージ→肌トラブル→ファンデで隠す→肌トラブル→ますますファンデに依存する、という悪循環に陥っています。

ですから、美肌になるためには、この悪循環の連鎖を断ち切り、ケミカル成分で作られたファンデに頼らないスキンケアをしていくことです。



逆に、ファンデーションをやめて、素肌が整っていけば、今後は、ファンデーションがなくても素肌に自信が持てるようになっていくのです。

何より、ファンデーションを使わなければ、強いクレンジング剤も不要になります。

肌が傷みにくくなるだけでなく、何よりも手入れが楽になり、とても解放された気分になっていくことでしょう。

## “2. 安全な天然成分でUVケアをすること”

最近では、紫外線吸収剤の肌への影響を考慮して、「紫外線吸収剤不使用、ノンケミカル」などと表示されているものが増えてきています。ですから、「紫外線散乱剤」を使った日焼け止めやファンデーションを使ったことがある方も多いかもしれません。

そして、「紫外線散乱剤」を使った日焼け止めやファンデーションは、伸びがまいちで、不自然な仕上がりになって、崩れやすく、やっぱりノンケミカルは使いにくい...もしかすると、そんな風に思われている方も、いらっしゃるかもしれません。

けれども、それは、成分に原因があったのです。一口に、「紫外線散乱剤」といっても、品質はピンキリです。たとえば、「酸化チタン」と言っても、**グレードが異なる**素材がたくさんあります。

当然、品質が高い「紫外線散乱剤」を使ったUV剤なら、テクスチャーも抜群によく、崩れにくく、夕方になってもくすまず、圧迫感や息苦しさもありません。



そんな素肌感覚の成分を使ったものを選ぶことが大切です。

### ワンランク上のUVケア

あなたは、「紫外線散乱剤」にも、いろいろな種類があるのをご存知ですか？

以前、私は「酸化チタン」という「紫外線散乱剤」は毒性がなく、安全な成分だと信じていましたが、ある時、「顔の色が、首よりも黒い」ということに疑問を感じたので、柴田先生に質問しました。

すると柴田先生は「酸化チタンには毒性がないけれど、日光に当たると、酸化するという欠点があるのですよ。」とおっしゃったのです。それを知った私は、本当の意味で「素肌美人」になるUV剤を作りたいと真剣に考え、その欠点を強力にカバーする方法として、抗酸化力No.1のフラレーンをUV剤に配合するという画期的な処方をご組みいただきました。

フラレーンはノーベル賞を受賞した夢の抗酸化成分で、ビタミンCの172倍もの圧倒的な抗酸化力を持っています。しかも、他の抗酸化成分とは異なり、自らが酸化することがないため、化粧品に配合すると洗わずに流さない限り、肌が酸化の影響を受けなくなるという優れたもの。そして、それ以降、HBIのオリジナルスキンケア「おうちエステシリーズ」のリバティウィングスコスメには、このフラレーンを配合することにしました。

## “理想的なスキンケアのために”

ここまでは、トラブル肌になる原因やファンデを使うリスクやUV剤の必要性などについてお伝えしてきましたが、素肌美人になるためには、日頃のお手入れの方法も大切です。

単にスキnfローラを殺さないというだけではなく、「肌の常在菌を大切に育てていくスキンケア」を意識することで、肌の状態は、劇的によくなります。

私は幸運にも、40歳直前に、肌改善を専門にしている美容家の柴田先生に出逢うことができました。

それまで、どんなメーカーの化粧品を使っても、高額なエステに行ってみても全く効果がないどころか、さらに肌が悪くなっていく一方だったのです（残念ながら、知識がないまま自分なりにするお手入れは、逆効果であることがほとんどです）。

それが、柴田先生から教えていただいた、「素肌がキレイになる正しいスキンケア法」を実践しはじめると、みるみる肌の状態が改善されていき、1ヵ月たった頃には、見違えるようになっていました。

ですから、スキンケアの方法を変えることで、多くの方が抱えている肌トラブルをスッキリ解消できると、私は確信しています。では、さっそく、素肌美人を作るために、本当に必要なスキンケアを、より具体的に見ていくことにしましょう！

## “美肌になるための3つの基本”

私自身、化粧品を探究して30年以上、そしてサロンでの10,000件以上の肌解析とフェイシャルの経験から見えてきた、素肌美人になる3つの基本があります。

それが、①ケミカル断ち ②紫外線ブロック ③酸化ブロックです。

つまり、この3つの基本を守ることによって、スキnfローラ（皮膚常在菌のバランス）が整い、その結果、皮脂のバランスが整うので、トラブルに負けない、強くて美しい素肌を保つことができるようになるのです。

「皮脂のバランス」というと、意外に感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、美肌にとっての大敵は「乾燥」です。

「皮脂」には、お肌を乾燥から守るだけでなく、「紫外線」からお肌を守る働きも持っており、さらには「酸化」も防いでくれるという、【天然のバリア機能】があるのです。

ですから、「皮脂」という天然の保護膜がきちんとバランス良く保たれていることが、美しい素肌のためには欠かせません。

男性は化粧をしない割には、シミやシワが少ないのは、皮脂が多いため、保護膜がきちんと保たれているからなのです。



もちろん、皮脂が過剰に出すぎると、毛穴が開いたり、ニキビが出るという問題もありますので、過剰もよくありません。

ですが、皮脂は肌を守り、さらに、皮膚常在菌の餌にもなって「スキnfローラ」を整えるためにも一役買っている、とても大切な存在です。

ですから、「乾燥肌」になって「皮脂」が少ないと、皮膚常在菌も少なくなってしまう、紫外線による酸化やケミカルなものから皮膚を守る力まで、弱くなるのですね。

ちなみに、Tゾーンはオイリー肌、それ以外は乾燥肌という「オイリードライ肌」の方は、皮脂が過剰なせいでと勘違いされやすいのですが、実は、「乾燥」が原因です。

「皮脂」が気になって、しょっちゅう油取り紙で押さえていると、逆に、もっと「皮脂」を出そうとして、部分的にオイリーになってしまうのです。

けれども、「オイリードライ肌」の方は、そもそもは、肌が乾燥してしまっていることが問題なので、「保湿」が鍵を握ります。

## “ファンデいらずの素肌美を手に入れる3ステップ”

では「スキnfローラ」を整えて、誰でも簡単に、美肌を手に入れるためには、具体的に、何をすればいいのでしょうか？

毎日のお手入れに、①ケミカル断ち ②紫外線

**ブロック ③酸化ブロック**の3つの基本を、どのように取り入れればよいのでしょうか？

スキンケアに必要なことは、実は、とてもシンプルです。順番に見ていきましょう。

### 1

## クレンジング&洗顔

ケミカルダメージを与えず優しく汚れを落とす

まずは、クレンジングと洗顔です。お肌にケミカルダメージを与えず、スキnfローラを守るためにも「優しく汚れを落とす」のが基本になります。

## 肌に優しいクレンジング法

スキnfローラを守るためには、強すぎるクレンジング剤を使わないことが大切です。

とはいえ、ケミカルな化粧品を肌に残しているのは、もっと問題ですから、ご自分の肌質にあった良質なクレンジング剤を選び、毎晩、楽しみながらクレンジングしていきましょう♪



①クレンジング剤をたっぷりつけて、こすらずに、優しく円を描きながらクレンジングします。

②クレンジング後はティッシュオフ、または、タオルでやさしく拭き取り、ぬるめの湯で洗い流します。

## 肌に優しい洗顔法

スキnfローラを守るためには、たっぷり泡を作って「こすらない」「洗いすぎない」「すすぎすぎない」洗顔法で肌を清潔に保つことを心がけてください。

ご自分の肌質にあった良質な洗顔料を選び、朝と晩、楽しみながら洗顔していきましょう♪

①泡を作るのがポイント。泡立てネットを使ってしっかり泡を作ってくださいね〜♡

②まんべんなく泡を乗せて、顔全体を包み込むようにして洗います。1度洗いでOKです。

この時、指が顔に直接触れないくらいに優しく、泡で洗うようにするのがポイントです。

③お湯で洗い流し、最後に冷水で引き締めます

注) ゴマージュやナイロンのタオルなどで、ゴシゴシ擦って洗うと...スキnfローラのバランスが崩れ、トラブルを起こしやすい肌になります。キメが壊れ、赤ら顔で敏感肌になってしまうのです。

**【ポイント】ふっくらと弾力のある美肌を保つには、できるだけ強い刺激を与えないことです。**

2

保湿

ケミカルと酸化ダメージを与えずしっとり潤す

美肌になるには、スキnfローラを整え、

肌を外敵から守るバリアを強化すること。肌を乾燥させないことが、何より重要です！

## 1. 乾燥から肌トラブルに！

肌は乾燥すると毛穴を開いて、皮脂を出そうとします。ですが、強すぎるクレンジングや洗顔で乾燥が酷くなると、肌のバリア機能が傷ついて、本来、表皮に出てはいけない細胞間脂質が滲み出てしまいます。

これは肌を酸化させ、細菌の繁殖によって、肌荒れを起こす大きな原因になるのです。

## 2. ケミカル成分がバリア機能を弱める

もともと「ケミカル成分」は肌にとっては異物です。長時間乗せておくと、バリア機能を弱める可能性があります。

ですから、特に化粧水は、「天然成分」が主体のものを浸透させて、引き締めるようにすると、自然とキメも整っていくのです。

具体的には...

## 美肌を作るスキンケア手順

①タップリの化粧水を、手のひらで浸透させるようにします。これを3回以上行なって、水分が入らなくなるまで保湿します。

②シミやシワの部位には、シートやコットンで湿らせた化粧水を10分以上浸透させます。

このローションパックは、肌を潤わせ、シミやシワの予防と改善に効果的です。

**【ポイント】洗顔後は、1分以内に化粧水を補いましょう！**

③ローションで潤したあと、ハリやツヤなどを高め、また、シミなどの改善を促すために抗酸化や還元力のある美容液を与えます。

④最後に水分を逃がさないために、クリームで保湿することがベストです。

ただし、クリームは、水と油を混ぜて作られたものですから、当然、空気に触れると酸化が進みます。

ですので、酸化を抑制するためにビタミンEやC、さらには、自らが酸化しないフラベンなどの成分が配合されたものが望ましいのです。

あらゆる物質は、空気に触れると電子が奪われ、酸化していきます。化粧品の油分、皮脂の油分は、空気に触れることで、酸化していきます。そして、肌の酸化は、シミ、シワ、肌あれや老化の大きな原因となります。

ですから、何よりも酸化しにくいクリームを選ぶようにしてください。

**【ポイント】抗酸化成分の素材を活用すると、肌の保湿力を高め、シミ、シワ、ニキビの予防と改善を促す。肌トラブルや老化を抑えることができます。**

3

## UVケア

紫外線ダメージから肌を守る！

美肌作りにとって、紫外線対策は、誰もが年間を通じて必ず行う必要がありますが、案外、低刺激で良質なUV剤は少ないと認識しています。

そして、紫外線と肌ダメージの関係について、理解されている方も、案外少ないと感じています。

紫外線は、お肌にダメージを与え、老化を加速させていきます。シミ、シワ、たるみを作る大きな原因となるため、オールシーズン、雨や雪でも、素肌美を保つためには対策が必須です。

UVA（紫外線A波）は、肌の真皮まで到達して、コラーゲンを破壊します。その結果、肌のうるおいやハリが失われシワやシミを作ります。紫外線Aは、曇りの日や冬でも存在し肌に影響を与えています。

UVB（紫外線B波）は、肌表面を刺激して、赤くなったり、肌に炎症を起こします。黒ずみやシミの原因にもなるので、美肌を維持するには日頃からのUVケアが必要なのです。

もしかすると「しっかりファンデを塗っているから大丈夫」だと思っておられるかもしれませんが、ファンデーションは、肌の水分を吸い取り、肌の表面を乾燥させ、ケミカルな成分が酸化して、肌にダメージを与えます。

ですから、美肌のためには、ファンデは止めたほうが良いのですが、**肌に負担をかけないUVケアは必須**です。

スキンケアの基本は、「スキnfローラ」を守ることでした。そして、そのために大切なのは、①肌に刺激のあるケミカルな成分を避け、②肌の酸化を防ぎ、③紫外線から肌を守るスキンケアです。

3つどれも重要で、どれも欠かせないポイントなのですが...特に、重要なのがUV剤です。

冒頭から説明してきたとおり、肌にのせている時間が長いのに、「ケミカル成分」の塊と言っていいほどで、酸化の原因にもなってしまうというのに、なかなか良い商品が市販されていないからです。

## “ファンデの代わりになる安全なUVクリームで素肌美を

日焼け止めやファンデーションを使って、肌が息苦しいと感じたことはありませんか？

BBクリームを使って、伸びが悪かったり、ザラザラしたり、白浮きしたり、色があわなかったり、崩れやすかったりしたことは...？

そんな問題をすべて解決するために、私自身が「セラピーコスメ」というコンセプトにこだわって、ベルクール研究所の柴田先生と一緒に作り上げた特別仕様のUVクリームがあります。

サロンに来てくださるお客様の口コミだけで広がって、今や、HBIサロンで一番人気の商品となっている「サンハイドSF」です。



## 化粧品業界の隠された本音・その裏事情とは？

柴田先生は、かつて美容化粧品により「リール黒皮症」と言って、顔面に炎症を起こしながら真っ黒に色素沈着が起こるといふ恐ろしいトラブルが起こるのを目の当たりにしたそうです。

そのことに深く胸を痛められた柴田先生は、『世の女性達が安心して本当に素肌がキレイになる化粧品を作ろう！』と決意されて40年、それに人生を捧げてこられた「愛の人」です。

先生は、一見すると研究熱心な化学者といった雰囲気ですが、誠実で、思いやりにあふれたお人柄です。私は、この先生から美容のことを学び、そして化粧品についての本当のことを知ることになったのです。

美容化粧品に配合される成分はピンきりで、肌に悪いものもあれば肌にやさしいものもあること。一般的に美容化粧品というものは、その製品の価格の60%くらいを宣伝費につぎ込み、他にも、さまざまなコストがかかるため、原料はできるだけ安いものを使っているということ。

さらには、業界の常識では「1kg 1,000円以上するものは使わない」とか「本当に肌を改善する化粧品を作ってしまうと儲からないので、あえてダメージを作るほうが、色々なアイテムを買ってくれるようになる…」という裏話も耳にするようになったのです。

けれども、もし原料にかかるコストを惜しまなければ、いくらで良いものは作れることも分かりました。



他にはない使い心地と便利さで売れて続け、発売から17年のロングセラー商品になっています。

また、私自身のサロンでの経験をもとに、最も効果が高い成分を配合し、本当に素肌をキレイに、すっぴん美人をになれるスキンケアシリーズも作り上げました。

ですから、ほんのすこしだけ、その「リバティウイングスコスメ」シリーズの人気の秘密も、お伝えしておきますね。



## ■脅威の抗酸化力！「フラーレン」配合

「リバティウイングスコスメ」シリーズには、ほぼすべてのアイテムに、フラーレンが配合されています。

すべての化粧品素材で抗酸化力No.1を誇るフラーレンは、圧倒的な抗酸化成分として、なんとノーベル賞を受賞した成分です。

ビタミンCの172倍の抗酸化力と、125倍の細胞死抑制効果を持ち、近年、化粧品業界でも夢の素材として熱い注目を集めています。

他の抗酸化成分と違って、フラーレンだけは、電子を与えても、自らの分子構造は変化せずに

安定しているため、**持続的に酸化から肌を守る**ことができるのが一番の特長です。

だからこそ、「リバティウイングスコスメ」には、クレンジングと洗顔料を除くすべて製品に、この圧倒的な抗酸化力をもつフラーレンを配合しています。

フラーレンの発売元から、実際に抗酸化力を発揮できる配合比率の処方だと認められたものだけに許される「フラーレンマーク (R.S.マーク)」を表示できる、数少ない本物のフラーレンコスメシリーズなのです。



特に、2%のフラーレン入りローション（守護天使ローション）やクリーム（フラーベルC60クリーム）は圧倒的な抗酸化力で、適切に使っていくと、老斑などの丸くて大きなシミなども消えた実績もあり、たいへんパワフルな有効成分なのです。

フラーレンシリーズ使用2ヶ月



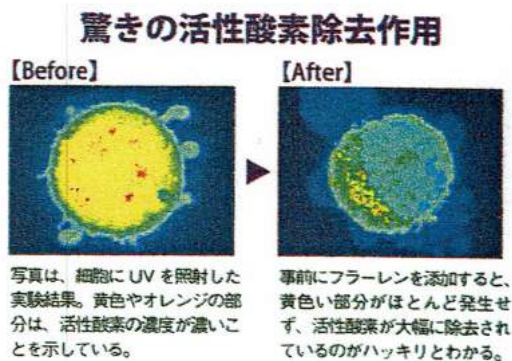
このように、とても効果が期待できる成分なのですが、同じ質量で比べますと、金よりも値段が高いくらいに、フラーレンは大変に高価な素材です。そのため、一般的に「フラーレン配合」

を謳うコスメにも、それほど量は入っていないことが多いのです。

けれども、「リバティウィングスコスメ」では、この圧倒的な抗酸化力を発揮するフラレンを配合しているのが大きな特長です。

中でも、UVクリームにフラレンを配合しているというのは、他にはなかなかないと思います。

けれども、紫外線の害は「肌の酸化」なのでから、フラレンを配合するのは、理にかなっています。



フラレンがビタミンCなどの抗酸化成分と異なるのは、自ら酸化しないという性質があることです。

自らが酸化することで紫外線を防止する他の成分と異なり、時間が経っても圧倒的な抗酸化力があると言えますから、UVクリームに配合すると、抜群の酸化防止効果が期待できます。

### ■特注品の「酸化チタン」使用

「リバティウィングスコスメ」のUV剤に使用されている酸化チタンは一般には売られていない赤の酸化チタンと黄色と黒色を混ぜ合わせています。

酸化チタンには、色々な種類があるのですが、通常、化粧品原料に使用される酸化チタンは白色で、赤色の酸化チタンは、特注品です。

肌に負担がかからないように合成着色料を使用しないで、赤色、黄色、黒色の3色でベージュの色を作っています。自然な肌色になるため、合成着色料を使用する必要がありませんから、肌にも優しいのですね。

そして、特に粒子が細かく、肌のフィット感がありって、UV吸収率も高い、大変クオリティが高いものを使用しています。

一般の酸化チタンに比べ、クオリティが高いため原価も高いのです。そのため、他社メーカーではコスト高という理由で使用しないため、ベル・クール研究所が、原料メーカーに特注品としてオーダーしている、こだわりの逸品なのです。

### ■宣伝費ゼロ

化粧品業界では、宣伝費に60%以上のお金をかけるのが常識です。ですが、ベル・クール研究所では、コストに宣伝費は含まれていません。

だからこそ、一般の化粧品業界では決して使えない高価な防腐剤や最高品質の酸化チタン、フラレン2%のローションやクリーム、フラレン1%の美容エッセンスを、お手頃な価格で提供することができるのです。

お肌が喜ぶ「セラピーコスメ」誕生の背景には、儲け主義ではなく、高品質の原料で美肌を作る美容家の柴田先生の技術力と、私自身の「1日5分、誰でもかんたんにスキンケアで素肌美人になれるコスメを作りたい」という強い思いがありました。

何度も試作してようやく形になった、そんな理想のスキンケアこそが、HBIのオリジナル化粧品「リバティウイングスシリーズ」です。

他のメーカーでは真似のできないランクの原料を惜しみなく使うことで、**素肌が喜び、美肌になれるセラピーグレードのコスメ**が誕生したのです。

## ■クオリティを保つ、小ロットでの手作り製法

HBIが委託製造を行っているベル・クール研究所では、天然成分を損なわないように「手作り」で製造しています。

自然素材の持つエネルギーを損なわず、パワーを最大限に活かすためには、低温、良好な湿度、混ぜるタイミング、回転数などに細かい配慮が必要になります。

オートメーションで作る場合には、すべての材料をいっぺんに入れて、混ぜあわせるしかありませんが、たとえば、熱に弱いビタミンCや生薬などは、冷ましてから入れたほうが、成分が壊れにくくなりますし、目視で状況を確認しながら、混ぜあわせる際の回転数を細かく調整していけば、界面活性剤や乳化剤を入れすぎなくてもすむのです。

星の数ほどある日本の化粧品メーカーの中でも「手作り」というのは、他にありません。また、プロの美容家の柴田先生が40年以上、数千件に及ぶ実際の肌解析データを元に培ってきたノウハウを反映している化粧品も、どこを探してもないはずです。

HBIサロンでは、このように熟練されたプロ集団によって、大量生産ではできないクオリティ

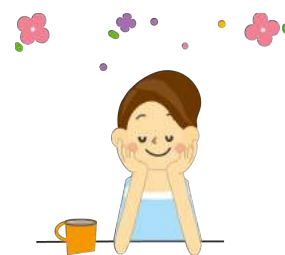
で、研究所で製造されたばかりの「できたて」の化粧品を新鮮な状態でお届けしています。

防腐剤は、肌に刺激の少ないものを最小限に使用していますので、開封後半年以内にご使用いただいています。

## ■敏感肌でも安心の無添加

「リバティウイングスコスメ」シリーズでは、基本的には天然成分主体です。

旧指定成分や、ケミカルな紫外線吸収剤などは、不使用。パラベンフリー、アルコールフリー、合成香料や着色料は不使用です。



※例外的に、すぐに洗い流してしまうクレンジング剤の乳化剤にだけは、一部、刺激の少ないケミカルな成分を使っています。

## ■抜群の使用感

大人気のUVクリームは、スーッと伸びて、毛穴が目立たず、長時間くずれない優れたテクスチャー。



息苦しかったり、ざらついたり、粉っぽかったり、ベタベタしたりといった、これまでのファンデーションや化粧下地、BBクリームやCCクリームにありがちな不快感が全くありません。まさに、それらの欠点をすべてクリアしています。

## ■つやのある透明感のある自然な肌色

どんな肌色の方でも、自然に馴染み、素肌感覚でお使いいただけます。

薄付きなのに、カバー力があり、程よく肌の赤みが隠れます。



重ね塗りしていただければ、ファンデーション代わりにもなり、長時間くすんだりすることもなく、夕方になっても、ムラになったり、崩れたりもせず、とても自然なままです。

### ■美容成分配合

美肌力を高めるスクワラン・マリンプラセンタ・コラーゲン・生薬エキス（カミツレ花エキス、アルニカ花エキス、セイヨウオトギリソウエキス、アルテア根エキス、ヤグルマギク花エキス、トウキンセンカ花エキス、ローマカミツレ花エキス、フユボダイジュ花エキス、ボタンエキス、ダイズ発酵エキス）を配合しています。



### ■圧倒的なSPF値とPA値で、しっかり紫外線をブロック！

紫外線吸収剤不使用でありながら、SPF43、PA++という圧倒的な紫外線プロテクト力を誇ります。

他ではありえない高品質の紫外線散乱剤を使っているからこそ、UV効果も抜群で、肌に優しいものに仕上がりました。

しかも、水や汗にも強いウォータープルーフタイプですが、落とすのもかんたんなので、とっても便利です。

## “人気の「サンハイドSF」を、読者限定の特別特典付きで、お試しいただけるチャンス！”

きつと、ここまでお読みくださったあなたは、「ファンデーションがいない、本当の“素肌美”を手に入りたい」と、熱心に願っていらっしゃる方だと思います。

けれども、そうは言っても、はじめての化粧品を試すのは、ちょっぴり勇気がいるものですよ。

そこで、ここまで読んでくださったあなたへの感謝の気持ちを込めて、HBIサロンで特に人気の商品を、特別な特典付きでご用意させていただこうと思立ちました。

「リバティウイング スコスメ」は、私自身が本当に使いたいスキンケアの追求と、柴田先生の徹底的なこだわりから生まれ、もともとサロンに来てくださったお客様の口コミから広がって



きたものです。

中でも、UVクリーム「サンハイドSF」（35g入り）は、17年以上のロングセラーを誇る、人気No.1の商品。

ですから、今回、この「美肌読本」をお読みいただいた方で...

「サンハイドSF」35g入り 4000円（税別・送料別途）をお求めの方に、こだわりフラワーレンの基本スキンケアが体験できる「お試しサイズ」2点セットを、特別にプレゼントいたします！

### <初回限定プレゼント>

・驚きの浸透力の天然ローズの香りの化粧水「プリンセスウォーター」10ml（お試しサイズ、通常価格400円）



・フラワーレンや7種類の植物エキスが酸化を防ぐ「フェイスリフトクリーム」3g（お試しサイズ、通常価格400円）



※お支払い方法は、クレジットカードと代金引換をご用意しています。ただし、10,000円以上20,000円未満の場合、代金引換手数料430円がかかります。

※送料は、お買い上げ合計金額10,000円未満で800円、10,000円以上の場合には無料です。

※「いきなり本商品を買うのは心配...」という方には、お試しサイズの「サンハイドSF」3g入り 400円（税別・送料無料、メール便での発送、クレジットカード払いのみ）も、ご用意しています。

お申し込みは、<http://hbi-salon.com/cosme/>から。ご注文の際、「通信欄」に「読者限定プレゼント希望」とお書き添えてください！

## “シリーズで使いたい！方へ”

おうちエステ基本 一日5分のスキンケアメソッド



### 素肌美人になる5つの秘密

#### 1. 毛穴の中までキレイに洗浄

シリカ、ヤシ油、ホホバ油でクレンジング&マッサージ

#### 2. 乾いた肌が喜ぶ驚きの浸透力

浸透力パツグン、みるみる浸透して素肌が変わる化粧水

#### 3. 圧倒的な抗酸化力で白い肌に還元

フラワーレン、プラセンタ、生薬、アブリシエの抗酸化成分

#### 4. ファンデの代わりになるUVケア

反射型のUV成分とフラワーレンの還元力で肌改善

#### 5. 有害ケミカル成分ゼロで肌安心

防腐剤、香料、乳化剤など、肌にやさしい天然系使用

化粧品は、シリーズで使うことで、お互いに補いあいながら、トータルなスキンケアができる

ように作られていますので、シリーズでお使いになることが効果的です。

また、お試しサイズのコスメでは、肌に刺激がないことは確かめられても、本当の良さというのはわからないものですよ？



お肌が変化していくまで、まずは1ヵ月はじっくりお使いいただいてこそ、本当の実力がわかるものですから、本来は、少しお時間をかけて、あなたご自身のお肌で、実際にトータルケアをお試しい

ただくのがベストです。

特に、「リバティウィングスシリーズ」は、本当に上質なスキンケアを、お手頃価格でお届けできるように、シリーズでお使いいただいても、それほど負担感がないように設計されており、また、たいへんお肌に優しい処方になっていますので、敏感肌の方でも、過去に使えないという方は、ほとんどいらっしゃいませんでした（植物のアレルギーがあった方だけNGでした）。

ですから、はじめからシリーズでお試しいただくことも、オススメしています。もちろん、今回に限り、読者限定でのプレゼントもおつけいたします。

◆どれを選べばいいの？というあなたには...

**【おうちエステ基本5点セット】**が、オススメです！

スキnfローラを整えて、フラーレンの抗酸化パワーを実感してみたい方に、まずおすすめしたい基本のセットです。ノーファンデの素肌美人になるために、今すぐのスタートをオススメします。

- ・スッキリ落として潤う、使い心地の良いクレンジング「アクアクレンジング」3,000円（税別）
- ・驚きの浸透力の天然ローズの香りのキメが整う化粧水「プリンセスウォーター」4,200円（税別）
- ・保湿力アップと抗酸化フラーレン2%の実力派美容液「守護天使エッセンス」6,500円（税別）
- ・即効リフトアップでハリと透明感のある美白オーラ肌に「フェイスリフトクリーム」4,000円（税別）
- ・ファンデ代わりに使える超高品質フラーレン配合UV剤「サンハイドSF」4,000円（税別）

⇒5点セット 21,700円（税別）

+「はじめてお求めの方」に限り、特別プレゼント付き！

【初回限定特典1】HBIサロンでのフェイシャル3,000円ご優待クーポン券

【初回限定特典2】基本3点のミニセット（旅行用に便利です！）

※プレゼントは、「アクアクレンジング」の代わりに「水溶性クレンジングオイル」をお求めいただくなど、多少アイテムの変更がある場合にも、おつけいたします！



スキnfローラを整えることで、40代からでもすっぴんでいられる素肌美人に、あなたもなりませんか？

リバティウイングスコスメについて、もっとお知りになりたい方は、<http://hbi-salon.com/cosme/> から。

ご注文いただく際には、「通信欄」に「読者限定プレゼント希望」とお書き添えてください！

もし、ご注文方法などご不明な点などございましたら、ぜひお気軽に、HBIサロンまで、メール (info@hbi-salon.com) または、お電話ください (03-3425-3758 受付時間：10～19時)。

## “おわりに”

当時、私にとって、お肌の悩みはとても深刻でした。「あの時の自分自身に教えてあげたい…」そんな気持ちで、今回、この「美肌読本」を作成しました。

誰でも、いつからでも、美しくなることは可能です。この冊子には、そのためのたくさんのヒントをギュッと詰め込みました。

他にも、お伝えしたいことは、とてもたくさんあるのですが…

まずは、このスキンケア読本をご活用いただくことで、一人でも多くの女性が、誤ったスキンケアによる肌トラブルや肌の悩みから解放され、誰もが本来持っている「素肌美」を取り戻していただくことができれば幸いです。

なお、より早い効果をお求めの方には、HBIサロンでは、フェイシャルメニューもご用意しております。特に、プチ整形以上の変化が期待できる「言霊ハーブ美顔フェイシャル」が人気です。詳しくは、<http://hbi-salon.com/cosme/facial/> から、ご確認ください。

また、エイジレス美人や素肌美人になる方法をお伝えするセミナーも定期開催しています。

<http://ameblo.jp/hbisalon/> などでも募集させていただきますので、ぜひチェックしてみてくださいね。いつか、あなたとお会いできる日を、楽しみにしています！

TOMIKO姫より愛と感謝を込めて



有限会社HBI

〒154-0022 東京都世田谷区梅丘1-15-12  
ツツキビル2階

TEL:03-3425-3758

(受付時間10～19時)